

開催の趣旨と目的

本シンポジウムは、和歌山県又は近畿圏で活躍されている統計学者、経済学者やデータサイエンティスト育成に取り組んでいる研究者等が、近畿圏における統計データ利活用の展望や和歌山県のデータサイエンスに関する取組等について発表・討論を行い、近畿圏における統計データ利活用の推進や、和歌山県民の統計データ利活用に関する意識の向上を図るために開催いたします。

あわせて、本シンポジウムは、政府関係機関移転基本方針(平成28年3月22日まち・ひと・しごと創生本部決定)に基づく実証実験として実施します。

プログラム

13:00-13:10	主催者挨拶	會田 雅人 (総務省統計局長) 仁坂 吉伸 (和歌山県知事)
13:10-13:15	来賓挨拶	松下 正幸 (公益社団法人関西経済連合会 副会長、パナソニック(株)副会長)
13:15-13:45	基調講演① 「統計活用と経済政策」	伊藤 元重 (学習院大学国際社会科学部教授)
13:45-14:15	基調講演② 「データサイエンティストの育成に向けて」	瀧 寛和 (和歌山大学長)
-休憩15分-		
14:30-15:30	パネルディスカッション 「データによる新たな価値の創造に向けて」 ～データはいかに役立つか～	■パネリスト 足立 基浩 (和歌山大学経済学部長/教授) 金 明哲 (同志社大学文化情報学部教授) 下川 敏雄 (和歌山県立医科大学 臨床研究センター副センター長) 松本 涉 (関西大学総合情報学部准教授) 千野 雅人 (総務省統計局統計調査部長) 高瀬 一郎 (和歌山県企画部長)
15:30	閉会	

統計データ利活用 シンポジウム

平成28年7月7日(木)
13:00~15:30

和歌山県民文化会館 小ホール

お問い合わせ先

総務省統計局総務課
TEL : 03-5273-1117 FAX : 03-5273-1180

和歌山県企画部企画政策局企画総務課
TEL : 073-441-2334 FAX : 073-422-1812
e-mail : e0201001@pref.wakayama.lg.jp

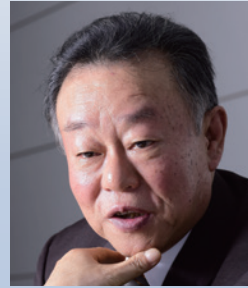
主催



来賓プロフィール

公益社団法人関西経済連合会副会長 松下 正幸 (まつした まさゆき)
パナソニック(株)副会長

1945年大阪府生まれ。68年慶應義塾大学経済学部卒業。同年、松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)入社。同年、ペンシルヴァニア大学ウォートンスクールへ留学。86年、松下電器産業株式会社の取締役役に就任。常務、専務を経て、96年に代表取締役副社長。2000年代表取締役副会長に就任、現在に至る。主な団体公職として公益社団法人関西経済連合会副会長、株式会社PHP研究所代表取締役会長また、財務省関税・外国為替等審議会委員などに就任。各方面で幅広く活動を展開中。



講師プロフィール

学習院大学国際社会科学部教授 伊藤 元重 (いとう もとしげ)

東京大学経済学部卒。ロチェスター大学Ph.D。専門は国際経済学。
東京大学大学院教授を経て2016年4月より現職。税制調査会委員、復興推進委員会委員長、経済財政諮問会議議員、社会保障制度改革推進会議委員、公正取引委員会独占禁止懇話会会長などの要職を務め、政策の実践現場で多数の実績を有する。



和歌山大学長 瀧 寛和 (たき ひろかず)

大阪大学基礎工学部卒業、大阪大学基礎工学研究科博士前期課程(修士)修了、工学博士(大阪大学、知能情報学)。三菱電機株式会社入社。財団法人新世代コンピュータ技術開発機構主任研究員、三菱電機設計システム技術センターグループマネージャーなどを経て平成10年和歌山大学システム工学部教授。評議員、学部長、副学長等を経て平成27年学長就任。専門は、人工知能、知識情報処理。知能ロボット、知的設計システム、スキル学習、ビッグデータ解析、脳活動計測等の研究と人工知能、データサイエンティスト教育に尽力。



パネルディスカッション 司会プロフィール

独立行政法人統計センター理事長 椿 広計 (つばき ひろえ)

東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了、工学博士(東京大学)。筑波大学ビジネス科学研究科教授、統計数理研究所リスク解析戦略研究センター長、統計数理研究所データ科学研究系教授、統計数理研究所副所長を経て現職。専門は応用統計学。公的統計の実務に携わり、公的統計マイクロデータとアカデミアとを繋ぐ取組に関心。品質管理、医薬品許認可、環境計測、ビジネス科学などの諸領域で統計的方法の普及啓発に努めている。



パネルディスカッション パネリストプロフィール

和歌山大学経済学部長/教授 足立 基浩 (あだち もとひろ)

ケンブリッジ大学土地経済学研究科にて博士号(Ph.D)取得(2001年)。新聞社記者を経て、平成8年に和歌山大学経済学部助手、平成22年から教授。専門はまちづくり論、地域再生論、経済政策。



同志社大学文化情報学部教授 金 明哲 (きん めいてつ)

総合研究大学院大学博士後期課程修了。国立国語研究所特別研究員、札幌学院大学社会情報学部教授を経て、平成17年から現職。専門はデータサイエンス、応用統計学。



和歌山県立医科大学
臨床研究センター副センター長 下川 敏雄 (しもかわ としお)

大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。大阪大学医学部附属病院未来医療センター特任研究員、山梨大学大学院総合研究部准教授を経て現職。専門は医学統計学、統計的機械学習、データサイエンス。



関西大学総合情報学部准教授 松本 渉 (まつもと わたる)

東京大学経済学部卒業後、同大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。統計数理研究所助手、助教、ミシガン大学社会調査研究所調査研究センター客員研究者を経て現職。専門は社会調査、NPO論。



総務省統計局統計調査部長 千野 雅人 (ちの まさと)

東京大学理学部数学科卒業。昭和59年に総理府に入省。経済産業省や日本学術会議への出向を経て、平成16年以降、総務省統計局統計調査部経済統計課長、同国勢統計課長、統計企画管理官、独立行政法人統計センター理事等を歴任。平成27年から現職。



和歌山県企画部長 高瀬 一郎 (たかせ いちろう)

昭和56年に和歌山県に入庁。平成20年以降、企画部企画政策局調査統計課副課長、総務部総務管理局市町村課副課長、和歌山県工業技術センター企画員兼副所長、総務部危機管理局総合防災課長、総務部危機管理局長を経て平成27年から現職。

